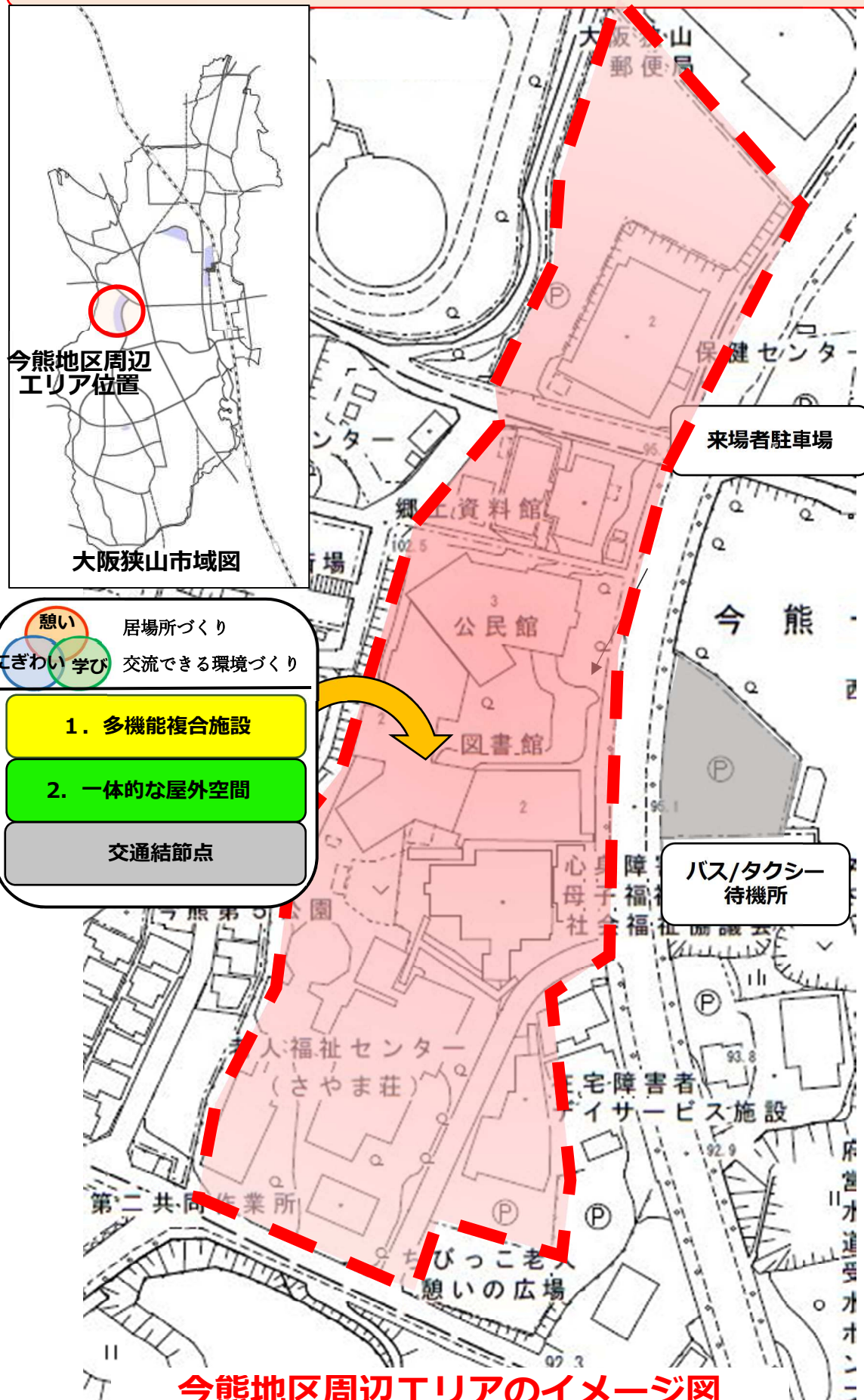


今熊地区周辺エリアのイメージ

『憩い・にぎわい・学び』の居場所づくり



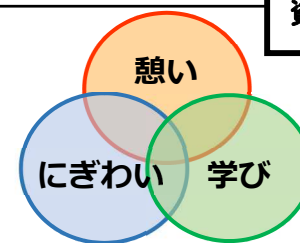
今熊地区周辺エリアのイメージ図

※機能移転等の都合上、段階的な整備となることを想定。

資料2

今熊地区周辺エリアのイメージ

交通結節点や公共交通ネットワークによるアクセスや利便性の向上に加え、第五次総合計画で設定した、【福祉・文化拠点】として「憩い・にぎわい・学び」の居場所・交流できる環境づくりに向けてエリア一体での空間形成をめざします。

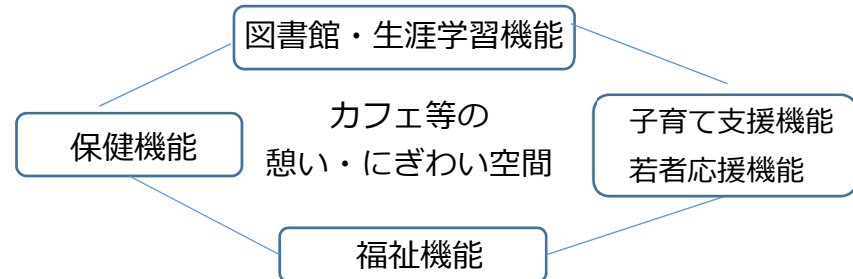


【1 多機能複合施設】

複合化機能

(図書館・生涯学習・市民活動・子育て支援・若者応援・保健・福祉)

施設機能のイメージ



【2 一体的な屋外空間】

敷地内広場、雨天対応型屋外広場、公園等

規模：多機能複合施設と一体的な屋外空間

空間イメージ：施設利用者が賑わい、憩える屋外空間を整備。各種事業や市民による活動や、イベント等にも活用できるような、まとまった規模の広場を想定。

※事業手法（1 多機能複合施設、2 一体的な屋外空間）

事業手法：民間企業との連携も視野に調査中

複合化機能のイメージ

【図書館・生涯学習機能】



本、新聞、雑誌などの貸出、講演会、講座、集会の実施、クラブ活動や会議が行える場所の貸出など

【保健機能】



健康診査や予防接種の実施、健康に関する相談窓口、休日診療の実施など

【子育て支援・若者応援機能】



親子で参加できる講座の実施、こどもの発達支援の実施、育児に関する相談窓口、自学習スペースの貸出、若者の活動の場など

【福祉機能】



高齢者や障がい者の活動の場、日常生活の相談窓口、講座の実施など

【カフェ等の憩い・にぎわい空間】

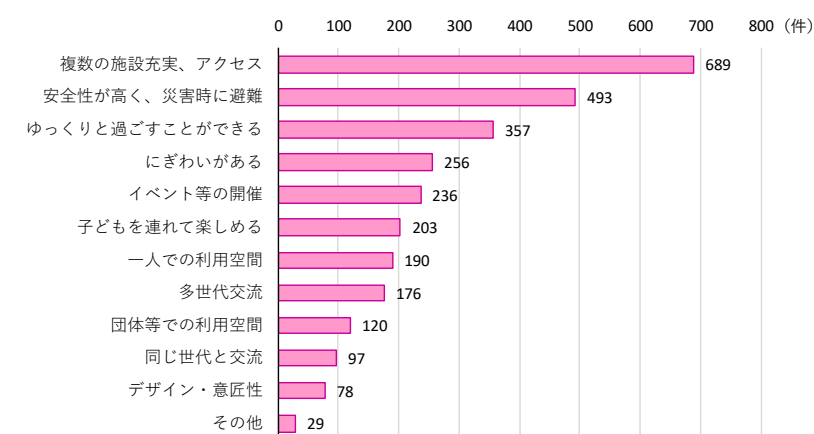


上記機能と一体感のあるカフェ等の飲食スペースや、交流が育める空間の確保

※上記機能を基本に各機能の融合や連携、あり方の検討を進めます

市民アンケート結果 ※回答件数 1,055 件（うち郵送配布 912 件、郵送配布以外 143 件）

（設問2）今熊地区周辺エリアの将来像



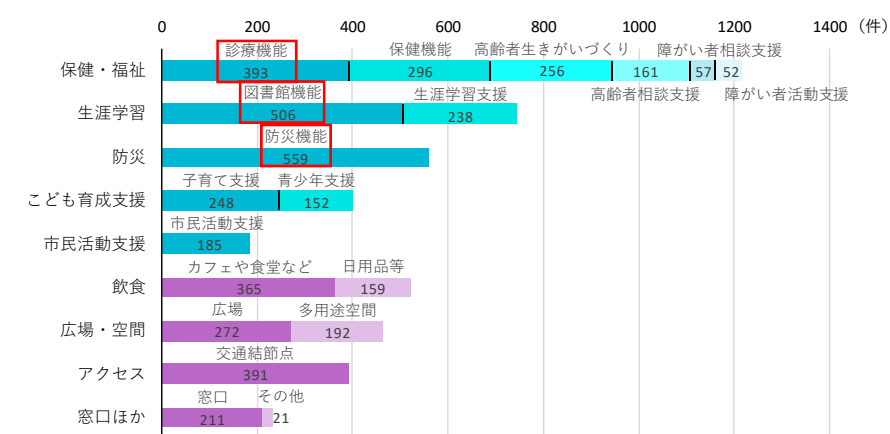
問）当該エリアが将来どうなっていれば利用したくなるか。

○(689 件)複数の施設が充実し、バス等交通手段があり、アクセスしやすい。

○(493 件)建物の安全性が高く、災害時に避難できる。

○(357 件)ゆっくり過ごすことができる。

（設問3）今熊地区周辺エリアに充実させるべき機能



問）当該エリアに充実させるべきと考える機能は何か。

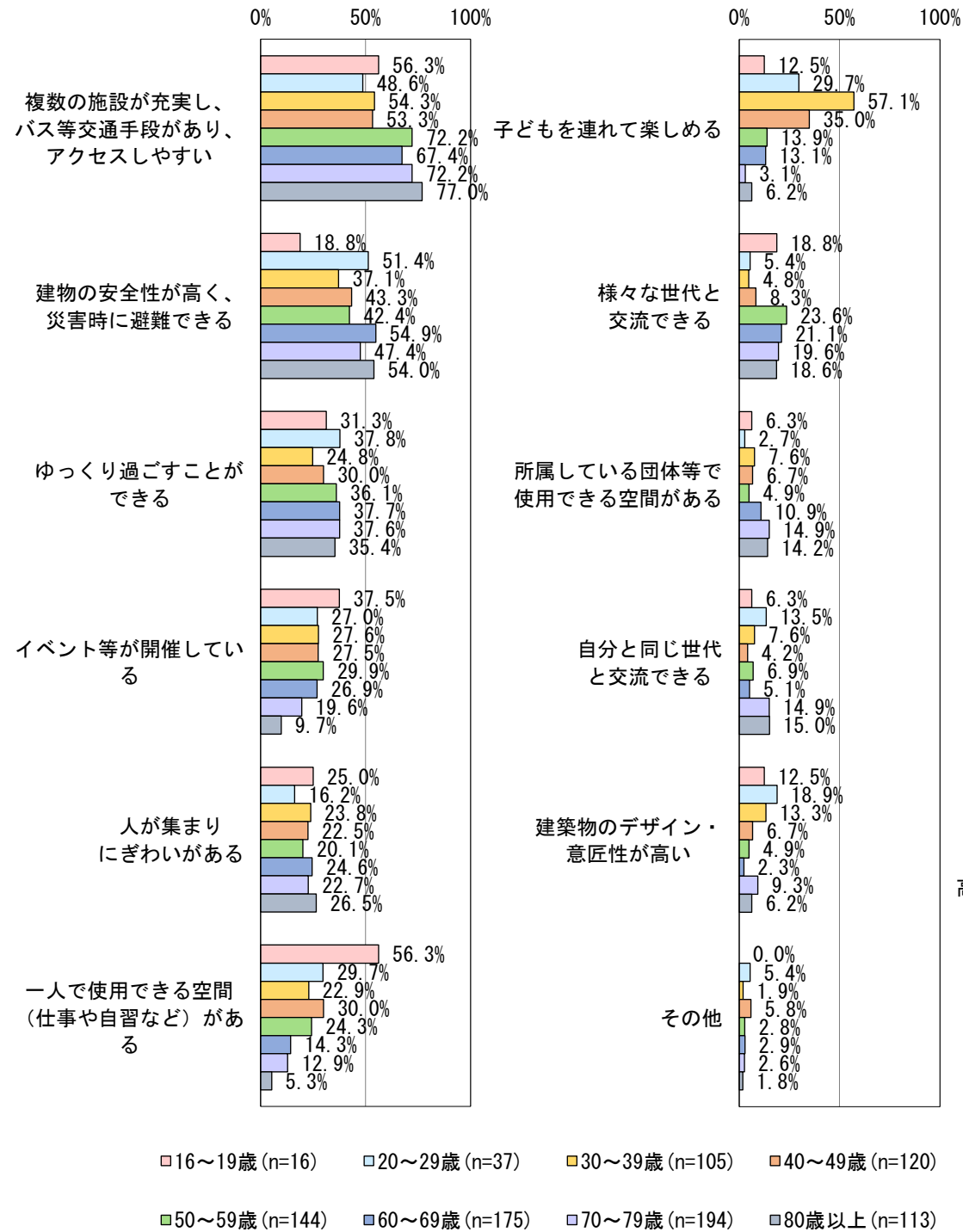
○(559 件)防災機能(災害時の避難所や防災活動に活用する場など)

○(506 件)図書館機能(図書の貸出、閲覧スペースなど)

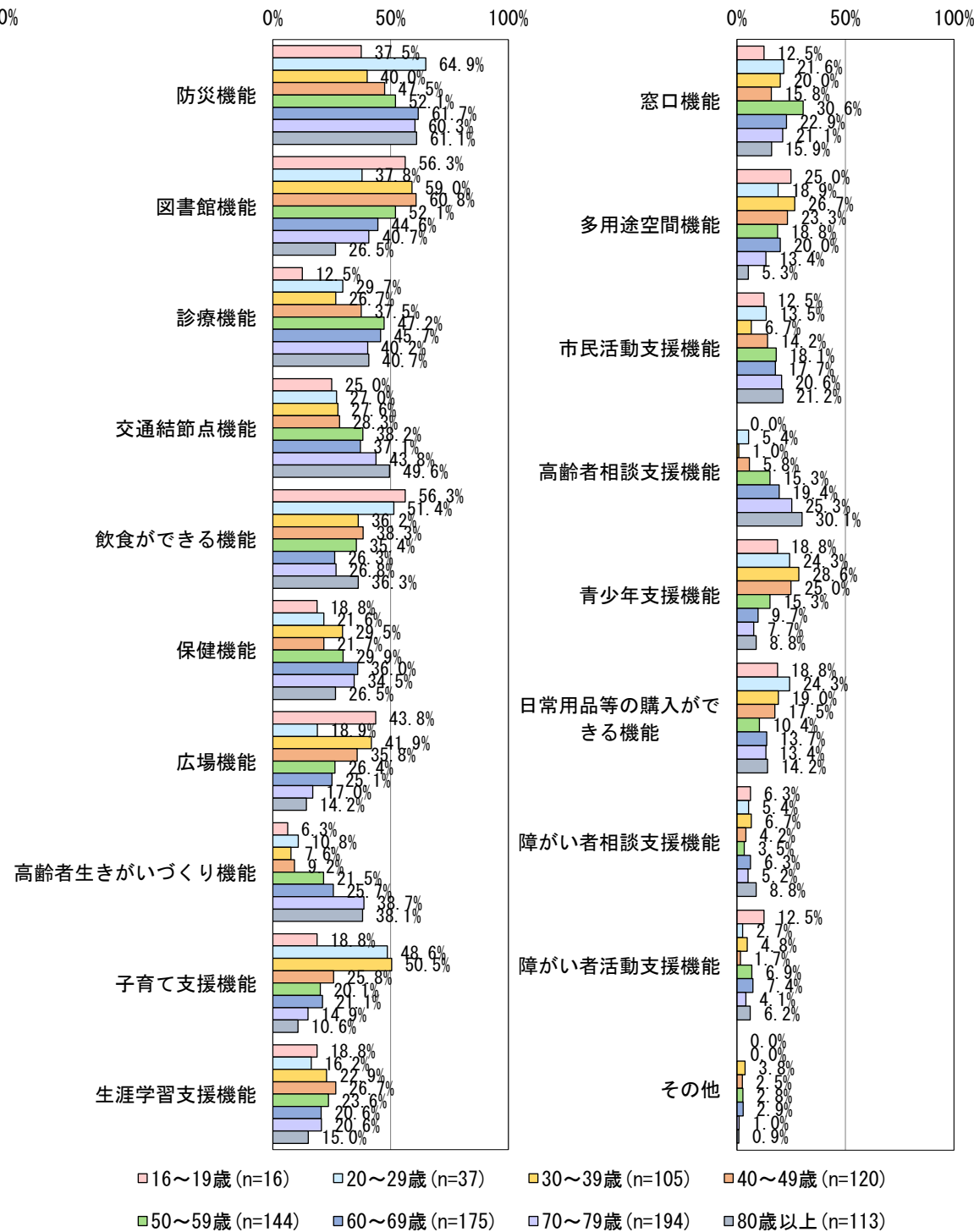
○(393 件)診療機能(休日診療、クリニックなど)

市民アンケート結果（年代別による回答及び自由記述）

【設問 2】 将来像



【設問 3】 充実させたい機能



【自由記述】

自由記述で多くのご意見をいただきました。その文章中に多く見られたキーワードを紹介します。

- ### 【公共施設や複合施設に対する意見】
- ・交流ができる場所（空間）
 - ・子供から高齢者まで活動（利用）できる
 - ・人が集まる（集える・集まりたくなる）
 - ・行きたくなる（利用したくなる）

- ### 【再配置（集約・複合化等）に対する意見】
- ・複合化（集約化）を図る
 - ・一つの施設にまとめる
 - ・Dエリアの施設を統合（複合化）する
 - ・機能の必要性が低いものは整理していく

- ### 【交通・アクセスに対する意見】
- ・市循環バスの本数を増加
 - ・（広い）駐車場の確保（充実）
 - ・アクセスが不便

- ### 【施設の充実に対する意見】
- ・図書館の充実（蔵書数の増加、デジタル化、おしゃれに、など）
 - ・図書館とカフェの一体化
 - ・子供が（と）遊べる（利用できる）場所（空間）
 - ・（老人福祉センターの）麻雀室の存続

- ### 【情報発信・市民参画に対する意見】
- ・施設のアピール（PR）不足
 - ・（様々な施設があるが）何をしている施設が不明

- ### 【その他】
- ・駅周辺の活性化（再開発、有効活用など）